

## アルバム

何かあれば写真を撮り

几帳面に整理して貼ったアルバム

そこには過去を呼び起こすボタンが仕掛けてある

アルバムに乗り込めば自分の生きたどの時点にも着陸可能だ

着陸地点を根拠地にして内視鏡を張り巡らし

あやふやな記憶も少しずつ甦る

好んで立ち寄る地点もあれば

スキップして避けてしまうページもある

裏返しにして貼ってある写真の中味は

かえって鮮明に見えて来る

空白になっているスペースも

空白そのものが雄弁にことの経緯を告げている

そんなアルバムが突如機能を停止することがある

現在があまりにも私を傷つけて

時の旅立ちの意欲を奪ってしまった時

アルバムは圧縮され、厚みを失い

失った負の空間に底無しのブラックホールが広がり

血を流した現在だけが微かに息をして

それだけが終わってもいない全人生のナポレオンなのだ